※令和４年度入学生用

学校番号	２１０

令和５年度　書道科

教科	書道	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ　（教育図書）・書道Ⅱプライマリーブック						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだ古典から１つ選び、半切作品を軸に仕上げる。
・仮名の基本・古典の臨書を学ぶ。
・創意工夫で自分らしい文字表現の作品作り。（未定）

２　学習の到達目標

・漢字半切作品を軸に仕上げ、書の美への関心を高める。
・仮名の線質の美しさを理解し、仮名作品（百人一首）を色紙に仕上げる。
・勘亭流を学び作品に仕上げる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させると共に、書の伝統に基づいて作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に３段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
四・五・六	半切作品の学習	・書体を選び、古典を臨書。 ・軸作品を仕上げる	a:五書体の歴史的位置づけを理解できる。 b:各自選んだ古典を習得できる。 c:半切に古典を臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
九・十	仮名の学習	・仮名の成立と特徴 ・仮名作品に使用する篆刻(朱文印を作る)	a:仮名に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:仮名の基本を修得できる。 c:変体仮名を理解できる。 d:仮名の美しさを理解し、身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
十一	仮名の臨書	・高野切1-2-3種を臨書	a:仮名に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b 高野切を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c:高野印を料紙に臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
十二	作品内容未定	・五書体より１文字を選び創作	a:文字を創作するセンスを身に付ける。 b:五書体の創意工夫ができる。 c:自分表現の文字を創作できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
一・二	仮名作品の作成	・百人一首を作成し、色紙に完成 ・勘亭流作品	a：変体仮名への関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:百人一首を創作にあたり、変体仮名を工夫できる。 c：料紙に創作ができる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度